



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年5月14日

上場会社名 株式会社フォトクリエイト 上場取引所 東
 コード番号 6075 URL <http://www.photocreate.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 白砂 晃
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 桑原 功（TEL）03-5909-5870
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年6月期第3四半期の業績（平成25年7月1日～平成26年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	2,426	12.3	141	△11.3	131	△18.3	79	△18.3
25年6月期第3四半期	2,161	—	159	—	160	—	97	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年6月期第3四半期	64.02		58.58					
25年6月期第3四半期	90.69		—					

（注）当社は第3四半期の業績開示を平成25年6月期より行っているため、平成25年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	1,244	—	717	—	—	57.6
25年6月期	841	—	381	—	—	45.3

（参考）自己資本 26年6月期第3四半期 717百万円 25年6月期 381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の業績予想（平成25年7月1日～平成26年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,230	13.9	193	7.6	183	4.6	106	4.1	84.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年6月期3Q	1,312,000株	25年6月期	1,071,100株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年6月期3Q	—株	25年6月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年6月期3Q	1,238,982株	25年6月期3Q	1,071,100株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。（決算補足説明資料の入手方法）決算補足説明資料は平成26年5月14日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成25年7月1日～平成26年3月31日)における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、消費者マインドの改善に加え雇用・所得環境の改善により底堅い推移が見られ、国内需要を中心に順調な回復基調を続けております。その一方で、海外経済の下振れリスクに加えて、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減と物価上昇に伴う実質所得の低下による消費者マインドが悪化する懸念もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社は「感動をカタチにしてすべての人へ」という経営理念のもと、インターネット写真サービス事業を着実に推進し、フォトクラウド事業の展開スピードの加速化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,426,759千円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益は141,401千円(前年同四半期比11.3%減)、経常利益は131,162千円(前年同四半期比18.3%減)、四半期純利益は79,317千円(前年同四半期比18.3%減)となりました。

当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。

(インターネット写真サービス事業)

当第3四半期累計期間においては、2月に2週連続で週末に降った関東甲信を中心とした大雪の影響で中止もしくは参加者数が減少するイベントが発生したものの、教育写真領域において販売が好調に推移した結果、大雪の影響を最小限に抑えることができました。

「オールスポーツコミュニティ」においては、「東京マラソン2014」や「大阪マラソン2013」を始めとした各種スポーツイベントの撮影・販売を行いました。

この結果、当事業部門の当第3四半期累計期間の売上高は、1,907,119千円(前年同四半期比6.9%増)となりました。

(フォトクラウド事業)

写真館・撮影事業者向けにもサービスを提供するWebサイト「スナップスナップ」において、新規開拓の営業活動だけではなく、既に取りを開始している写真館との関係強化にも注力し、写真館との取引拡大を進めております。

また、結婚式場にサービスを提供するWebサイト「グロリアーレ」において、全国各地の結婚式事業者及び婚礼写真会社との取引拡大を進めております。

この結果、当事業部門の当第3四半期累計期間の売上高は、469,003千円(前年同四半期比35.8%増)となりました。

(広告・マーケティング支援事業)

当事業部門におきましては、前期からの継続案件に加えて、大型マラソン大会におけるタイアップ案件を中心に、既存クライアントとの新しい企画の取り組みや新規クライアントの開拓に注力しました。

この結果、当事業部門の当第3四半期累計期間の売上高は、50,636千円(前年同四半期比55.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,139,821千円となり、前事業年度末に比べて392,508千円増加しました。これは主に、売掛金が165,961千円増加、有価証券が300,000千円増加したことによるものです。また、固定資産は105,049千円となり、前事業年度末に比べて11,069千円増加しました。これは主に、有形固定資産が9,722千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債は527,675千円となり、前事業年度末に比べて67,905千円増加しました。これは主に、法人税等納付により未払法人税等が42,337千円減少、その他流動負債が66,495千円減少しましたが、買掛金が63,614千円増加したこと及び新規借入れにより長期借入金(1年以内返済分を含む)が144,894千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は717,194千円となり、前事業年度末に比べて335,673千円増加しました。これは、公募増資・第三者割当増資・新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ128,177千円増加したこと及び四半期純利益の計上により利益剰余金が79,317千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年8月9日に公表いたしました平成26年6月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(四半期損益計算書関係)

当社では、開催されるイベントを主な収益源としており、イベント開催時期により売上高・営業費用に季節的な変動があります。通常、大型マラソンや運動会が開催される第2四半期会計期間(10月～12月)及び第3四半期会計期間(1月～3月)に売上高・営業利益が高く、第1四半期会計期間(7月～9月)及び第4四半期会計期間(4月～6月)の売上高・営業利益は低くなる傾向にあります。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	523,446	467,852
売掛金	162,674	328,635
有価証券	—	300,000
貯蔵品	4,957	8,448
その他	56,234	34,884
流動資産合計	747,313	1,139,821
固定資産		
有形固定資産	39,289	51,492
無形固定資産	12,530	17,130
投資その他の資産	42,158	36,426
固定資産合計	93,979	105,049
資産合計	841,292	1,244,870
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,265	223,879
短期借入金	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	42,812	50,784
未払法人税等	44,847	2,509
その他	152,793	86,298
流動負債合計	430,718	363,472
固定負債		
長期借入金	20,300	157,222
その他	8,752	6,981
固定負債合計	29,052	164,203
負債合計	459,770	527,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,098	242,275
資本剰余金	95,898	224,075
利益剰余金	171,524	250,842
株主資本合計	381,521	717,194
純資産合計	381,521	717,194
負債純資産合計	841,292	1,244,870

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	2,161,667	2,426,759
売上原価	1,178,206	1,391,601
売上総利益	983,460	1,035,157
販売費及び一般管理費	824,024	893,755
営業利益	159,436	141,401
営業外収益		
受取利息	114	130
助成金収入	1,391	—
為替差益	2,594	909
その他	1,198	320
営業外収益合計	5,298	1,359
営業外費用		
支払利息	1,728	1,513
株式交付費	—	2,648
株式公開費用	2,344	7,398
その他	103	39
営業外費用合計	4,176	11,598
経常利益	160,559	131,162
税引前四半期純利益	160,559	131,162
法人税、住民税及び事業税	55,856	35,763
法人税等調整額	7,567	16,081
法人税等合計	63,423	51,844
四半期純利益	97,135	79,317

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年7月9日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ76,820千円増加しております。

また、平成25年8月9日を払込期日とする第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ23,046千円増加しております。

これらの要因により、当第3四半期会計期間末において資本金が242,275千円、資本準備金が224,075千円となっております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、インターネット写真サービス並びにこれらに関連した事業の単一セグメントであることから、セグメント情報の記載を省略しております。